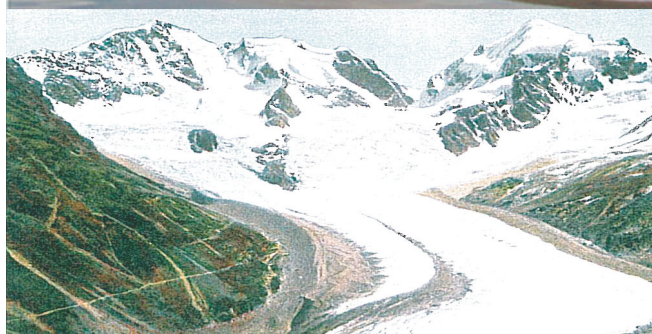


こうりん



上 ツバル、フナフチ島（首都）。環礁のため内陸から沸き上がった水によって浸水している町
下 スイスのチェルパ氷河です。左が 1910 年 右が 2001 年 氷が少なくなっています。

内 容

- ・新しい音楽法要
- ・十夜法要のご案内
- ・平成二十年度年回繰出し表
- ・説相箱（仏教がめざすところ）
- ・院号授与式
- ・無量寺コンサートのご案内
- ・作ってみよう精進料理
- ・お知らせ

猛暑も過ぎ、急に秋らしくなって参りました。地球温暖化の影響が次第に表れてきて、北極の氷が急速に消えていつていっているようです。これが南極大陸の氷まで溶け出すと、20年から30年の間に海水面が1メートル以上上昇し、陸地が海になってしまいます。ガソリンの代わりにトウモロコシ等を燃料にして自動車を走らせることもできますが、その為に穀物の価格随分と上昇しています。世界的な人口の増加と食料不足がこれからの大きな問題になるようです。

日本の江戸時代は稲作を中心とした文化だったといえるでしょう。その頃の智慧を活かすことはできないのでしょうか？

新しい音楽法要

9 月 23 日（秋分の日）に当山秋季彼岸法要を行いました。

回向の後、「音楽と念仏」という講題で住職の法話があり、カーラビンカ（無量寺合唱団）のみなさんによる音楽法要を奉納していただきました。その第 2 部には「ゆりかごの歌、シャボン玉」など人生を歌で振り返りました。最後には「千の風になって」を会場の皆さんと合唱して終わりました。



カーラビンカ（無量寺混声合唱団）のみなさん。 皆様のご参加をお待ちしています。

KALAVINKA(カーラビンカ) 無量寺混声合唱団

団員募集のお知らせ

（この会の目的）

- 1、無量寺本尊阿弥陀如来さまに、音楽法要を始めとして、仏教聖歌を中心に、美しい歌声を奉納することを、主目的とする。（毎年の彼岸法要などのへの出演）
- 2、団員各自が自ら持って生まれた天声を生かし、且つ他の団員との融和をはかり、共に生かされていることの喜びを分かち合う。音楽を通して人格を高めていく。

檀信徒の方であればどなたでも入団していただけます。

（初心者の方歓迎）専門の講師に指導して頂きます。

男性にも大いに参加して頂きたいと思います。

練習日 毎月 2 回 第 1、第 3 土曜日 午前 10 時より 11 時 30 分まで

場 所 無量寺ホール

会 費 月 1,000 円（講師謝礼を含む、楽譜代別途）

募集人員 50 名程

※ 参加申込、お問い合わせは無量寺まで

檀信徒各位

平成 19 年 11 月上浣
無量寺住職 堤 俊翁

十夜法要の御案内

聖 名、時下晩秋の候、専心聞法の好季節と相成りました。
 貴家御一統様益々御清祥の趣、お慶び申し上げます。
 さて、早くも今年最後の法要「お十夜」を迎える事になりました。
 就きましては、下記の通り相つとめます。御多忙の事とは存じますが、
 何卒万障お繰り合わせ御参詣の程、御案内申しあげます。 至心合掌

記

※日 時 平成 19 年 11 月 23 日金曜日（勤労感謝の日）

午後 1 時より御 回 向（普通回向）

午後 2 時より諷誦文回向（特別回向）、法 話

※布教師 小倉南区全照寺副住職 黒瀬 寛雄 上人

※御回向料 普通回向 1 霊に付金 1,000 円以上ご志納下さい。
 特別回向 1 霊に付金 5,000 円以上ご志納下さい。

特別回向 平成 18 年 11 月 23 日から平成 19 年 11 月 22 日ま
 でに亡くなられた霊位 初めてお十夜を迎える霊位
 又は特別に志される霊位、布教師様による諷誦文回向です。

お申し込みの方は事前に御連絡をお願いします。

お申し込みは FAX にても結構です。

普通回向 位牌型に回向される方の戒名と施主名を記入
 して下さい。（複数記入されても結構です。）

お十夜

正しくは「十日十夜法要」という。「無量寿経」の下巻に説かれた教えを実践したもので、十日十夜にわたり不断念佛を称えて別時の念佛を修し、阿弥陀さまのお慈悲に感謝する法要である。後土御門天皇の勅許により鎌倉光明寺で修して以来、今では浄土宗の大切な法要となっている。

平成二十年度 年回繰出し表

供養済みの霊位も記載しております。
十月二十三日現在

一周忌

(平成十九年)

平田 勝恵殿
山田 定幸殿
木下 門蔵殿
谷口 重男殿
野村 京子殿
小林 ミヨ子殿
石松 照子殿
中野 守隆殿
石里 民子殿
轟 正行殿
田熊 利太郎殿
木下 淳子殿
宮崎 三津代殿
中原 昭嘉殿
宮川 静子殿
笠 光江殿
笠 ツキエ殿
笠 智恵子殿
松本 秀俊殿

富澤 朋子殿
町野 雄士殿
豊田 シヅ子殿
大中 政登殿
平木 ヒサノ殿
梅津 健生殿
広瀬 フジエ殿
五百住 タミエ殿
島岡 明美殿
肥後橋 シズエ殿
川浪 トミ殿
富里 藤子殿
堀田 良子殿
岡崎 公平殿
井上 市郎殿
角 正殿
笠 ミドリ殿
青木 ツギエ殿
笠 敏幸殿
仲道 チツヨ殿
柴田 紀代子殿
坂井 勇介殿
下川 喜久殿
笠 明殿
大里 盛敏殿
笠原 ミツ殿

吉原 昭二殿
山下 忠左衛殿
田中 カズエ殿
富澤 守殿
木本 伸男殿
緒方 司郎殿
廣木 京子殿
齊田 勇殿
熊丸 明葉殿
立石 ツルミ殿
田中 房三殿
武内 サチ子殿
吉田 弘殿
多賀 幸子殿
角 福恵殿
久富 大樹殿
中園 修二殿
松石 久仁子殿
広津 恵殿
川原 賢二郎殿
久富 陽一殿
島生 敬子殿
三笠 正光殿
藤井 ナミエ殿
弥永 繁殿
澤 房雄殿
下川 和則殿
深町 ヤエ子殿
笠 始殿
藤井 昭治殿

龍頭 清次殿
大中 ケイ子殿
田中 チツ子殿
木下 万作子殿
杉 カメノ殿
高田 勲夫殿
武田 麗殿
西尾 誠殿
坂井 文殿
佐藤 東喜彦殿
諸藤 サワノ殿
島生 忠夫殿
中尾 フサエ殿
浅井 尚門殿
重松 フミエ殿
武田 英一殿
古賀 肇殿
皆 孝之殿
山崎 安宏殿
高田 正俊殿
笠原 孝子殿
木下 隆人殿

七回忌

(平成十四年)

藤原 ジュン殿
富田 吉彦殿
北村 マツイ殿
古賀 昌子殿
久富 武博殿
下村 義雄殿
笠 みつか殿
西村 衛殿
加藤 敬生殿
川浪 巧範殿
片岡 春高殿
森山 昭男殿
加藤 武鋪殿
田中 アイ殿
辻 昌美殿
佐藤 シヅエ殿
笠 久子殿
熊丸 隆夫殿
家中 ツネ殿
玉井 月夏殿
田中 英治殿
日下部 ミツエ殿
高山 順男殿
中島 登殿
高田 一枝殿
中尾 アグリ殿
戸田 千恵子殿
藤崎 耕一殿
熊丸 クニエ殿
中野 真二殿

十三回忌

(平成八年)

川原 太郎殿
武田 ヒデ殿
高田 ミツノ殿
津福 進殿
井手 茂殿
井上 善治殿
貴島 清常殿
鬼塚 都子殿
柳瀬 カスミ殿
森 カオル殿
木下 フミ子殿
田島 すみ子殿
下川 清太殿

大塚 敏子殿
井手 定殿
津福 ツギエ殿
山口 菊太郎殿
馬場 宣雄殿
坂井 トシ子殿
野田 トヨ殿
稲吉 ユキエ殿
倉重 京子殿
熊本 儀三郎殿
小川 恵子殿
笠 守殿
鶴田 政子殿
執行 文子殿
上野 開三殿
中原 鶴次殿
森田 照夫殿
海田 浩明殿
坂井 辰一(子)殿
荒木 スミカ殿
重松 偲殿
池田 ヨシノ殿
久富 靖男殿
古賀 マスヨ殿
森田 エミ殿
浅田 義幸殿
笠 輝昭殿

十七回忌

(平成四年)

三回忌
(平成十八年)

井上 司郎殿

山田 キミ子殿

山田 キミ子殿

山田 花子殿

説相箱

仏教のめざすところ

ゴータマ・ブッダすなわち人間釈尊はそとりを開いて覚者（ブッダ）となった。仏教は釈尊その人の自覚を出発点としている。仏教が理想とするところ

も、実践方法も、すべて釈尊おの人の人格を中心としてきた。それは釈尊入滅以後崇拜の対象となっても基本は変わらなかった。仏教の第一義はどこまでも、人間自身の中にある仏性（ぶっしょう）の開発にある。仏性とは潜在する普遍的人間性のことであり、仏となりうる可能性を意味している。「仏は海の船師である」というように、あくまで釈尊は渡し船の導きの師であることを示していた。

釈尊は、自身と同じさとりを過去に得た人もいたであろうし、現にどこかにいるはずであり、未来にも出ることは当然であると述懐しておられる。ここ

から、多くの仏が出現する。大乘仏教は仏となることを願い、菩薩としての道を歩む菩薩教団である。大乘の仏教徒はすべて菩薩である。

菩薩とはさとりを求める人であり、さとりを完成する人であり、また、さとりが確定している人ともなる。

しかし、一般には、まだ発心（ほつしん）したばかりの者で、後戻しない境地に至っている者ではないので、修行を積み、努力を続けなければならない。当然、目標とする菩薩たちがおられる。すべての修行をし尽くし、いつでも仏になれるが、現在では迷える人々のそばにいて救う努力をしておられる菩薩たちである。それが観音・勢至・地藏などの菩薩たちであった。

釈尊は過酷な行を放棄し、人々との語らいを重視し、人に応じて法を説いた。

仏教がめざすところ、しれはわれわれが今日一日、仏教の精神のもとに充実した生き甲斐を感じ得ることにある。一日一日、真実の生き方をしてこそ、仏教徒であるといえよう。

院号授与式

お念佛に励まれた方、五重相伝、を受けられた方、年間法要の法話を聴聞された方などが院号を受けられております。片桐さんも十四日会と法要にに通われて、今回院号を受けられました。



安養院 片桐 晴美 殿



だるまさん

年間 5 回の法要（御忌、彼岸、施餓鬼、十夜）の法話、念佛講、14 日会等に参加された方に渡しています。

100 だるま以上集められた方には無条件で、お戒名に院号をお贈りします。お札に名前を書いて保管しておいて下さい。



念佛講 法要のない月の 25 日頃（午前 11 時より）に勤め、念佛、法話を行っています。

14 日会 毎月 14 日（8 月は休み）の午後 7 時よりお勤め、念佛、法話を行っています。

無量寺コンサートのご案内

日 時 平成 19 年 11 月 9 日 (金)

開 場 午後 6 時 30 分、開 演 午後 7 時

場 所 無量寺 1 階ホールにて
会 費 無 料

♪月影、秋の歌メドレー♪
♪千の風になって (英語版) ♪
♪ラ・クンパルシータ♪
♪君をのせて♪
♪お政治おばちゃん♪
♪オーバー・ザ・レインボー♪
♪ドヴォルザーク 白銀の月よ♪
♪ベートーヴェンピアノソナタ月光第 3 楽章♪
♪ショパン・ノクターン♪

カーラビンカ無量寺合唱団
英語で歌う会
チッゴ・アミーゴス
RA ☆ SONIA YOURA
よだんカルテット
稲吉ファミリー
四ッ谷牧子
武田裕子
堤 俊翁

演奏曲目は主なものを記載しています。

※ 駐車場が限られますので、自家用車での来場はご遠慮下さい。

作ってみよう精進料理

{浄土宗かるな} より

材 料

〈すしめし (3 合分)〉

酢 60cc 塩 15g 砂糖 40g

(ネタ)

きゅりのぬか漬、ナスの漬物、
はくさい塩漬、焼椎茸、焼松茸、
焼き油揚げ、芽ネギ、引上湯葉、
花大根、とんぶり等

精 進 す し



作り方

1. 酢、塩、砂糖を鍋に入れ、火にかけてよくかき混ぜてとかす。
2. 炊き立ての御飯に (1) を全体にかけ、混ぜる。
3. 好みの材料をネタににぎる。

永代供養墓兼納経塔建立のお知らせ

近年の家庭環境、社会環境の変化に伴い、先祖供養の形も変化をしつつあります。家中心から家族中心、夫婦単位、個人単位へと変わりつつあります。納骨の形も墓、納骨堂等それぞれの環境に合わせた形で祀られてきました。お子さんのあるなし、既婚か未婚かなど、人それぞれの生活形態によってお骨の祀られる場所も方法も多様化しています。

無量寺ではそのような変化に対応するため、永代供養墓兼納経塔の建立を計画しました。境内に個人単位での納骨場所を設けて、そこに永眠して頂けるようにします。



図はイメージです。
詳しいことはお寺までお尋ね下さい。

使用済みのカードはありませんか？

使用済みのプリペイドカード（テレフォンカード、ハイウェイカード、バスカード、JRカードなど）がありましたら、お寺へ御持参下さい。

独立行政法人国際協力機構（JICA）を通じて、世界中の子供達の医薬品や医療器具などを購入するための資金を得る活動に役立てていただきます。

世界中のカード収集家に販売してその収益が当てられます。

写真や絵など図柄が美しいものが、喜ばれます。



香林山 冷智院 無量寺
機関誌 こうりん

第50号 平成19年11月1日発行

〒830-0044 福岡県久留米市本町8-4

TEL 0942-32-3010

FAX 0942-32-2701

郵便振替口座 01750-7-16114

URL <http://www.muryoji.net>

E-mail info@muryoji.net